

## 輸出品目別レポート（豚肉）

### ■品目説明

豚肉は「枝肉及び半丸枝肉」「骨付きのもも肉及び肩肉」「その他の部分肉」に大きく分けられ、それぞれ生鮮・冷蔵品と冷凍品とがある。国連食糧農業機関（FAO）Food Outlook（2024年11月）によると、2019年の世界の豚肉生産量は、1億2,461万トン（枝肉換算ベース）と推定される。主要生産国は、中国（5,794万トン）であり、これにEU（2,083万トン）や米国（1,239万トン）などが続く（[独立行政法人農畜産業振興機構（alic）「絵で見る世界の畜産物需給（2025年7月）](#)を参照）。

豚肉の国内消費量は、2017年度以降、豚肉需要の一層の高まりを背景に輸入量が増加したことなどから、180万トンを超えて推移している。2024年度の国内消費量は、輸入量（98万3,000トン）の増加により前年度（184万2,000トン）から微増の184万9,000トンとなった。（出所：農林水産省「[畜産・酪農をめぐる情勢](#)」、2025年6月）。一方、同年度の国内生産量は2024年度89.5万トンであった。豚肉の自給率は、重量ベースで49%となっている。

豚肉に関して、[認定農林水産物・食品輸出促進品目団体](#)には、[一般社団法人日本畜産物輸出促進協会](#)がある。

### ■貿易概況

2023年の豚肉（くず肉を除く）の輸出をみると、金額は前年比2.6%増の1,467万ドル、数量は同6.6%増の1,570トンであった。輸出相手国・地域別にみると、1位は香港で金額は前年比8.5%減の993万ドル、数量は同5.6%減の1,068トンと減少した。2位はシンガポールで金額は同47.8%増の390万ドル、数量は同62.4%増の419トンと大幅に伸びた。3位のマカオは金額が同23.4%増の51万ドル、数量が同24.4%増の56トンであった。

なお、2024年の豚肉の輸出額は23億7,500万円（同11.1%減）であった。

（出所：農林水産省「令和7年（2024年）農林水産物・食品の輸出額」）

▼表1：日本の豚肉（くず肉除く）輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	12,565,699	1,133	10,862,718	1,131	9,934,965	1,068	△8.5	△5.6
シンガポール	3,833,845	330	2,640,295	258	3,902,758	419	47.8	62.4
マカオ	488,994	48	419,663	45	517,720	56	23.4	24.4
タイ	277,610	15	265,089	19	284,513	24	7.3	26.3
アラブ首長国連邦	24,982	2	14,293	1	20,743	2	45.1	100.0
全世界	17,611,160	1,620	14,301,612	1,473	14,678,628	1,570	2.6	6.6

注：対象はHSコード 0203

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

日本からの豚肉の輸出については、2018年に日本国内で豚熱が発生したことを受け、輸出相手国の受け入れが確認できたものについては輸出が再開されている。最新の情報については動物検疫所「[豚熱の発生に伴う豚肉等の輸出停止・再開について](#)」を参照のこと。

なお、豚肉は、農林水産省の[輸出拡大実行戦略（2025年5月）](#)において輸出重点品目に入っており、2030年までに輸出額52億円（うち香港37億円、シンガポール11億円など）を目標としている。輸出先国・地域のニーズや規制に対応する産地育成の推進を掲げており、現状・課題として、「畜産農家等・食肉処理施設・輸出事業者が連携した輸出拡大への取組」「高度な衛生水準への対応等輸出先国が要求する条件への対応」「日本産豚肉の認知度向上」を挙げている。

また、さらなる輸出拡大のため、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地として、[フラッグシップ輸出産地](#)がある。豚肉においては、北海道の「ホクレン食肉輸出コンソーシアム」が認定されている。香港、シンガポールなどへの輸出体制の強化に取り組んでいる。

## ■海外事情

### ●香港

2023年の豚肉の輸入動向をみると、金額は前年比4.8%増の6億4,648万ドル、数量は同5.7%増の18万5,172トンとなった。輸入相手国の動向をみると、ブラジルが1位で金額が前年比28.0%増の2億5,342万ドル、数量は同17.4%増の9万9,726トン、ブラジル産豚肉は単価が安く、香港では特に庶民向けローカルレストランで多用されている。2位の中国は金額が同15.9%減の1億4,449万ドル、数量は同11.7%減の3万236トンとなった。3位のベトナムは、金額が同32.9%増の5,673万ドル、数量は同22.5%増の8,736トンだった。日本は9位であった。

▼表2：香港の豚肉（くず肉除く）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ブラジル	281,781,065	114,617	197,930,358	84,961	253,422,417	99,726	28.0	17.4
中国	117,546,132	20,173	171,836,553	34,242	144,494,222	30,236	△15.9	△11.7
ベトナム	39,728,548	4,921	42,702,379	7,130	56,733,507	8,736	32.9	22.5
オランダ	60,521,082	18,100	55,427,430	15,953	54,714,629	15,252	△1.3	△4.4
スペイン	38,127,973	5,617	36,309,477	5,285	28,662,925	3,598	△21.1	△31.9
日本（9位）	14,131,332	1,141	13,235,048	1,043	11,491,115	978	△13.2	△6.2
全世界	809,818,917	245,555	616,899,320	175,188	646,485,011	185,172	4.8	5.7

注：対象はHSコード 0203

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

日本産の豚肉について、香港の現地事業者からは、「最近は日本産豚肉の美味しさに対する

る理解が広がり、よく売れている」などの声が聞かれ、消費者からも品質、安全性、味の面で高く評価されている（[香港 PF 品目別（豚肉）カントリーレポート（2024年11月）](#)、JFOODO「[アジア6カ国・地域及び米国における農林水産物・食品8品目についての流通実態及び消費者調査](#)」（2022年7月）。消費者が他国産より高くても日本産の豚肉を選ぶ理由として、おいしさ、安全性、品質のほかに「質の高い食品にはお金をかけてもよいと考えている」「ちょっととした贅沢」という理由も聞かれた。一方で価格のほか日系スーパーや専門店での購入に限られるというアベイラビリティの低さ、購入可能な部位が限定的なことが購入時のネックになっているという意見も聞かれた。また香港の高級レストランでは高級スペイン産イベリコ豚がトレンドとなっており、香港市場で日本産豚肉を拡大するためには食材そのものの良さだけでなく、ストーリー性や工夫されたマーケティングなども重要なとなる。（[香港 PF 現場レポート日本産豚肉に明日はある-次なる市場を作る-（香港）（2022年9月）](#)）。

▼表3：香港の豚肉輸入内訳

	金額				数量			
	2021年	2022年	2023年	前年比	2021年	2022年	2023年	前年比
<b>豚肉（生鮮・冷蔵）</b>								
枝肉及び半丸枝肉 (0203.11-000)								
タイ	30,473,104	1,549,323	3,863,679	149.4	5,094	271	895	230.3
オーストラリア	935,181	98,090	59,982	△ 38.9	196	20	12	△ 40.0
骨付きのもも肉及び肩肉 (0203.12-000)								
米国	1,391,072	1,298,162	642,494	△ 50.5	391	172	87	△ 49.4
オーストラリア	1,005,857	557,973	528,795	△ 5.2	204	104	96	△ 7.7
イタリア	671,688	488,655	487,112	△ 0.3	38	37	32	△ 13.5
その他のもの (0203.19-000)								
中国	38,738,323	80,158,742	49,067,770	△ 38.8	8,153	18,763	10,494	△ 44.1
オーストラリア	9,538,879	4,587,063	3,120,791	△ 32.0	1,414	572	308	△ 46.2
カナダ	3,671,612	3,985,557	2,665,613	△ 33.1	434	438	281	△ 35.8
<b>豚肉（冷凍）</b>								
枝肉及び半丸枝肉 (0203.21-000)								
ベトナム	39,445,044	42,291,386	56,027,398	32.5	4,840	7,029	8,630	22.8
中国	8,243,641	4,746,788	3,240,770	△ 31.7	1,539	1,390	804	△ 42.2
スペイン	154,692	69,562	17,979	△ 74.2	22	4	1	△ 75.0
骨付きのもも肉及び肩肉 (0203.22-000)								
ブラジル	15,314,907	7,771,397	8,266,539	6.4	12,279	4,490	5,067	12.9
スペイン	222,147	134,272	949,352	607.0	139	19	104	447.4
カナダ	324,056	962,937	774,721	△ 19.5	264	750	604	△ 19.5
その他のもの (0203.29-000)								
ブラジル	263,444,215	189,900,996	244,924,571	29.0	101,119	80,342	94,583	17.7
中国	70,564,169	86,931,023	92,185,682	6.0	10,481	14,089	18,939	34.4
オランダ	54,023,778	54,848,236	54,168,675	△ 1.2	16,401	15,753	14,994	△ 4.8
<b>食用くず肉・豚（冷凍）(0206.49-000)</b>								
ブラジル	64,068,597	20,273,431	19,289,355	△ 4.9	38,821	17,462	15,993	△ 8.4
ポーランド	26,297,838	7,865,234	9,312,980	18.4	19,388	8,594	9,304	8.3
ドイツ	96,980,360	8,203,028	7,857,886	△ 4.2	59,664	7,823	6,967	△ 10.9

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

### ● そのほか

- ・[農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム](#)
- ・[JFOODO 海外フィールドマーケターによる現地「食」情報レポート](#)

ジェトロ「現地市場価格調査」では、豚肉の主要都市における市場価格をまとめている。豚肉の輸入規制、輸入手続きに関して、[ジェトロのポータル](#)にて、香港、台湾、中国、シンガポール、タイ、ベトナムをまとめている。

- ・独立行政法人農畜産業振興機構 (alic) [海外需給レポート（豚肉）](#)

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
農林水産食品部 市場開拓課 調査チーム

〒107-6006  
東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル  
TEL：03-3582-5186

#### 【免責事項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。